

生徒シンポジウム 2017 第2議題「学生時代を有意義に過ごすには？」

議長：藤井 惇嗣(攻玉社高等学校)

書記：井上 日菜子(東京大学教育学部附属中等教育学校)

<学生時代にやりたいこと>

- ・オリンピックに携わりたい
- ・彼女作りたい
- ・バックパッカーで世界一周したい
- ・NBAを生で見たい

<学生時代にやるべきこと>

- ・勉強(学校に通う)
- ・友達を作り交流
- ・校外で課外活動
- ・わくわくすること(自分の中で心を踊ることを見つける、持っておく。)
- ・生活リズムを整える
- ・いろんな(考えの)人と楽しく話せるようになる
- ・話をうまく(勉強ができるだけじゃだめだー！！)
- ・いろんな人と話すことで視野を広げる
- ・専門の学問を極める
- ・没頭できることを作る
- ・家族から段階的に独立する(経済的、心理的に)
- ・資格を取る
- ・人との交際
- ・一人暮らし
- ・ボランティア

→分類分け

- ・コミュニケーション力、交流
- ・勉強
- ・自立
- ・趣味、没頭
- ・健康

<なぜ交流が必要なのか？>

- ・情報を得られる
- ・価値観が合う人と出会える
- ・知識が増える(知識はたくさん無いと使えない、知らなかったら幅が無い)
- ・違う人がいる、ということを知る
- ・先輩からの話が聞けるから予習ができる
- ・自分の人生を良く過ごすための道具を得られる
- ・話がうまい方が自分の考えを伝えやすい、よく伝えられる
- ・自分の好きなことだけをやっても殻にこもって(人間的な)成長ができない
- ・自分の理想像を見つけられる
- ・一人じゃ寂しい
- ・交流によって「知る」ことはわくわくする

手段は何か？

- ・本を読む
- ・ボランティア
- ・話を続ける努力をする(他者を受け入れる)(柔軟になる)

<なぜ勉強が必要なのか？>

- ・知識がないことが怖い。知識はあるだけ武器になる。
- ・当たり前知識をつけられる環境にいるから。
- ・話題提供の一つ(同じことを知っていると話しやすい)
- ・趣味
- ・テストに向けての勉強のように、目標への段階を踏むことの練習になる
- ・努力ができるようになる
- ・自分よりも優秀な人、得意な人、詳しい人にだまされないように防御する
- ・勉強できれば防御するだけでなく自分が責めることができる
- ・知らない知識弱者になる
- ・知らないことを知ることはわくわくする
- ・嫌なことをやる能力
- ・世の中は頭いい人の方が良い仕事に就ける、稼げる

<なぜ自立が必要なのか？>

- ・一人にならないと分からないことに気付く、できるようになる(お金のことなど)
- ・責任をとれるようになる
- ・人間的になれる
- ・自分一人で生きていくことができれば自分が(不満を持った)コミュニティから外れるという選択もできるようになる
- ・相手(親)の苦勞を知ることで相手のことを思ったり労わったりすることができる
- ・自立していないと基本受け身だから。受け身の状態で社会に出ていくことは良くないから。
- ・自発的に行動できるようになる
- ・自分を厳しい環境(半強制的な環境)に置くことでやらざるを得ないから自立していない時よりもできるようになる(家事、継続することなど)

<なぜ**趣味**を見つけるべきなのか？>

- ・(ともに没頭できる)仲間ができる
 - ・辛いことがあったときに趣味が癒しになる
 - ・没頭することはその没頭する分野に認められる、ということになる。自分のアイデンティティになる。人間の本質的なものである。
 - ・没頭している人は魅力的だから。人から好感をもって見てもらえる。
- (没頭したいからするのではなく気付いたら没頭している、という形が理想)

生活リズム、健康は人生の基盤。大前提。全てにつながってくる。

基礎はしっかりすべき。

<まとめ>

- ・様々な人と交流することで、自分と異なる価値観を知ることが出来たり一生の友達も見つかるかもしれない。
- ・学生と切り離せない勉強。これは一般教養を身に付けるはもちろん、目標を立て実行するという大人への訓練でもある。
- ・趣味など没頭できるものを見つけることは、自分を豊かにして、また自分の存在をそれに見出すことができる。